






政務活動（参加・実施）報告書

令和 8 年 1 月 22 日

会 派 民 主 ク ラ ブ

参 加 者 小 山 征 三 他 3 名

政務活動先 (目的地)	① 水戸市 ② 名古屋市			
開催団体等	① 水戸市役所 ② 名古屋市役所			
政務活動期間	令和8年1月19日(月)～1月21日(水)			3日間
政務活動項目 (名称等)	① みと町内会・自治会カード ② 町内会・自治会応援事業「Eまっちカード事業」			
政務活動参加者	小山 征三	松尾 省勝	岩田 薫	橋本 智子
				計 4名
全体参加者数				
政務活動の目的・結果等の概要・所見	別紙 行政視察報告書参照			
	資料名(会派保管)	① 水戸市町内会・自治会の加入促進等の取組みについて ② 町内会・自治会応援事業「Eまっちカード事業について」		

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

視察先	茨城県水戸市(水戸市役所)
視察日時	2026年1月19日(月曜日) 14:00~
視察テーマ	① 町内会・自治会カード事業について ② 町内会・自治会加入促進について

1. 町内会・自治会カード事業について

① 事業実施の経緯について

みと町内会・自治会カード事業は、町内会・自治会の加入率が低下する中、令和元年度に水戸市住みよいまちづくり推進協議会に町内会・自治会加入促進委員会を設置し、市と地区会長が一丸となって、加入促進施策を検討する中で、優待カード事業に取り組む事例があったことから、水戸市においても「町内会・自治会に加入してよかった」といった目に見えるメリットを創出する施策として取り組むことを令和2年度に方針決定しました。コロナ禍もあり、令和3年度なかばに協力店の募集を開始し、令和4年から協力店 208 店舗でスタートしています。

② 事業内容について

町内会・自治会会員がカードを協力店で提示した場合に、料金割引、ポイント付与、一品サービスなどの優待サービスを受けられるものです。また、カード裏面に防災情報を記載できるようにしており、家族で防災に備えてほしいといった狙いもあります。

対象は、住みよいまちづくり推進協議会に所属する町内会・自治会の会員世帯で、1世帯1枚、カードを配布しています。

③ 予算・決算の状況について

令和6年度ベースでは、本事業に係る実施主体の予算額(市からの補助金額)は、2,000,000円となっており、決算額は、1,377,187円であり、内訳としては、ポスターやサービスガイドなど、備品購入費が大きなシェアを占めている。

④ ポイント付与数・付与条件について

市では独自にカードへのポイント付与は行われていない。

一方で、協力店において自社のポイントサービスにおいて、ポイント2倍付与等の取組を行っている事例もみられた。

⑤ 優待サービス・特典等の内容について

協力店による優待サービスについては、市からの補填分としての補助金は支出しておらず、ご厚意による提供もあるとのことでした。

⑥ 経済効果について

経済効果は算出していないとのことであった。

協力店へのアンケートの結果、導入後3年間で延べ約33万回の利用があることがわかり、利用されるという点では、効果があがっているとの見解も示されている。

2 町内会・自治会加入促進について

① 組織率について

組織率は、把握をしていないとのことであった。

水戸市は、現在 1.243 の町内会・自治会が組織されている。これまでに解散した町内会・自治会もあり、町内会、自治会があるものの水戸市住みよいまちづくり推進協議会に加盟していない団体もあるとのこと。

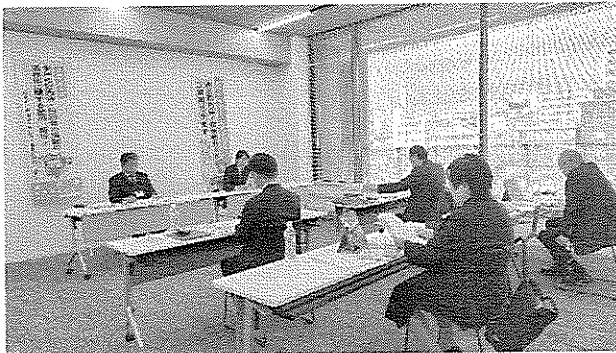
② 加入率について

水戸市では、町内会・自治会の加入率の算出、加入世帯数を総世帯数(常住人口)で除して算出している。

一方、加入率については、「町内会・自治会の加入率の推移」のとおり 1998(平成 10)年度は、48.0%と27年 36.6 ポイント減少しているとの見解も示されている。

③ 加入促進に向けた取組内容について

令和2年度に実施した町内会・自治会に関するアンケートの結果から、「町内会・自治会に加入しない理由」として、「知らなかった」「声がかかれなかった」「メリットがない」といった意見が挙がっていたことから、「知る機会を増やす」「誘う機会を増やす」「メリットを創出する」の三つの方針で加入促進を行うこととし、予算を獲得して施策を展開している。



※行政視察所感

町内会・自治会の加入促進や将来的な運営については、苫小牧市のみならず、全国的な課題として向き合ってきているのが現状である。

水戸市では、こうした現状を的確に捉え、地域コミュニティの活性化や町内会・自治会への加入促進にスポットを当てられていることにまずは、敬意を表したい。

実際に町内会・自治会カードを運用し、市民定着を図る施策展開は、ただ単に加入を促すことだけに囚われず、地域商店会との強力な連動であり、往々に理解できるものであった。

この施策からの学びを得ながら、苫小牧市への町内会・自治会加入サポートへのアイデアを提言しながら、条例制定などの政策提案を引き続き、会派として取り組んでいきたい。

視察先	愛知県名古屋市中区（名古屋市役所）
視察日時	2026年1月20日(火曜日)15:00～
視察テーマ	① Eまっちカード事業について ② 町内会・自治会加入事業について

1. Eまっちカード事業について

① 事業実施の経緯について

町内会・自治会は、住みよいまちをつくるため、地域住民が自主的につくりあげる住民自治組織である。「Eまっちカード」は、名古屋市においても東区の町内会・自治会の活動を応援するための施策として、実施主体である「名古屋市東区区政協力委員協議会」は、加入の新たなメリットを創出し、加入率減少を防ぐとともに、地域コミュニティ全体の活性化を図る目的で導入された。

② 事業内容について

*利用できるのは、東区区政協力委員協議会へ加入している町内会・自治会の会員とその同居している世帯構成員に限られる。(1世帯1枚)

*カード交付は、町内会や自治会から行われるシステムになっており、協力店によって異なり、カードを事前提示することで粗品進呈、お会計から5%オフ、ドリンク1杯サービスなどの特典が得られる。

*町内会・自治会への加入促進策として、R7-3月現在134店舗が協力している。

③ 予算決算の推移について

(単位:千円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	3.000	920	3.846	2.300
決算	2.800	920	3.813	

④ ポイント付与数や付与条件について

ポイントが付与されるという概念はなく、各協力店が独自に割引やサービスを提供する仕組みとなっている。

例えば、「お米を1,000円以上購入するとポイントカードにプラス1ポイント進呈」といった特典も見受けられましたが、これは協力店独自のポイントサービスへの追加となっており、Eまっちカード自体のポイント付与とはならないようです。

⑤ 経済効果について

この事業を通じ、地域住民が店舗を利用する機会を創出、消費を促すことで、地域経済への活性化に貢献

*地元店舗への送客

町内会・自治会員がカードを使って協力店を利用することで、地元店舗への来店が促進される

*消費の促進

特典を利用することで、会員が積極的に地域のお店で消費するきっかけとなり、協力店も無料で登録・広報が出来るメリットもある。

2. 町内会・自治会加入促進について

①組織率について

組織率については、「町内会・自治会が組織されるはずの単位区域において、町内会・自治会が組織されている割合」での見解が示された。

例えば、現在町内会がない地域において「新たに町内会を立ち上げたい」といって相談等が寄せられた場合は、戸別に対応されているとのことであり、町内会・自治会が組織されていない地域については、統計的に把握していないということであった。

②加入率について

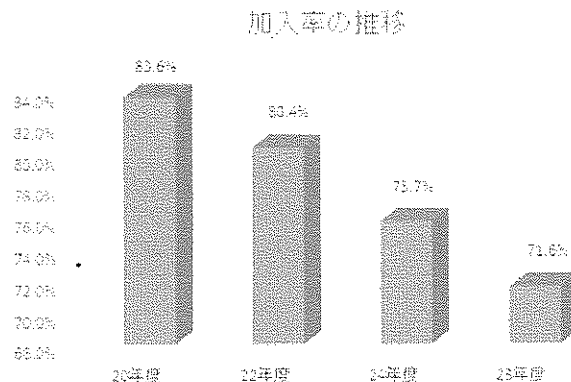
区政協力委員の改選(2年に1回)のタイミングで調査しており、推計値として把握と公表につなげている。

※算出方法 加入世帯数÷統計世帯数

③加入促進について

現在、東区内には180以上の組織で構成されており、小学校区を単位として9つの学区連絡協議会も設置されている。

区内では約6割が加入しているとのことであり、その規模は、20~800世帯と幅広い活動が継続されている。



※行政視察所感

名古屋市東区における各学区の地域活動事例を紹介する「地域活動事例集」や人口や住環境などの統計データをまとめた指標などが公開されており、地域状況を客観的に把握、今後の地域活動を考える上で非常に有意な施策展開事例を学ぶことができました。

名古屋市全体として、地域コミュニティ活性化に向けた課題は、町内会・自治会の加入率が過去10年間で約10.7%減少しており、現在は約68.7%となっており、苫小牧市と比較しても、その背景には、ライフスタイルの多様化、役員のみ手不足なども要因となっていた。

この視察では、名古屋市として、地域団体からの相談対応、運営や活動への支援・アドバイスをを行っているが、課題解決へ導くために「プロボノ」といった、専門的なスキルや経験を持つ人が、社会貢献のために無償でボランティア活動を進めるプロジェクトなども同時並行で進んでおり、多角的な支援策で、町内会や自治会の活動を推進する取り組みは、苫小牧市としても政策提言し、ブラッシュアップが図れるものと考えている。